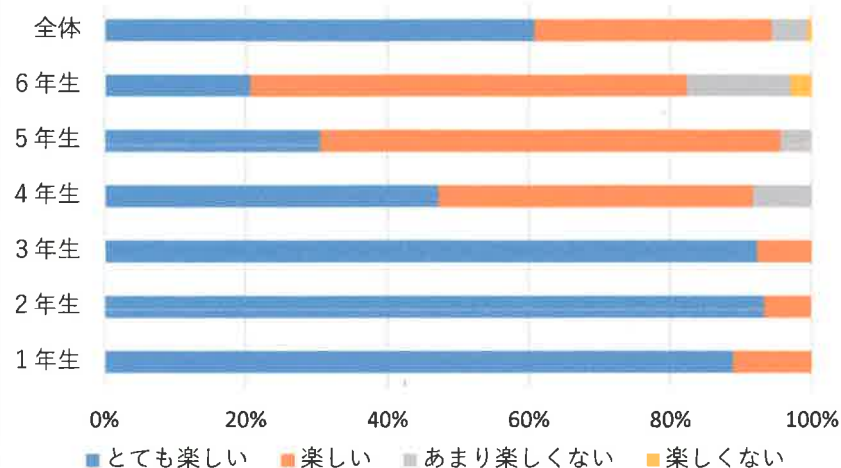


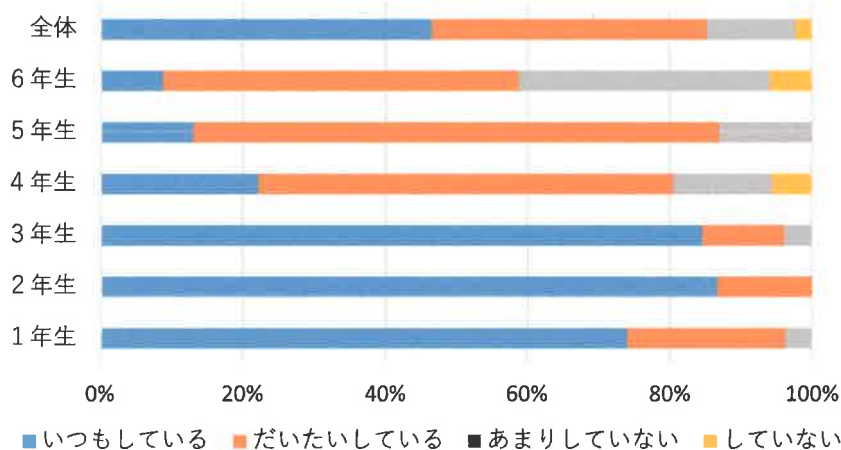
※子どもたちへのアンケート

（１）外国語科の授業は楽しいですか？



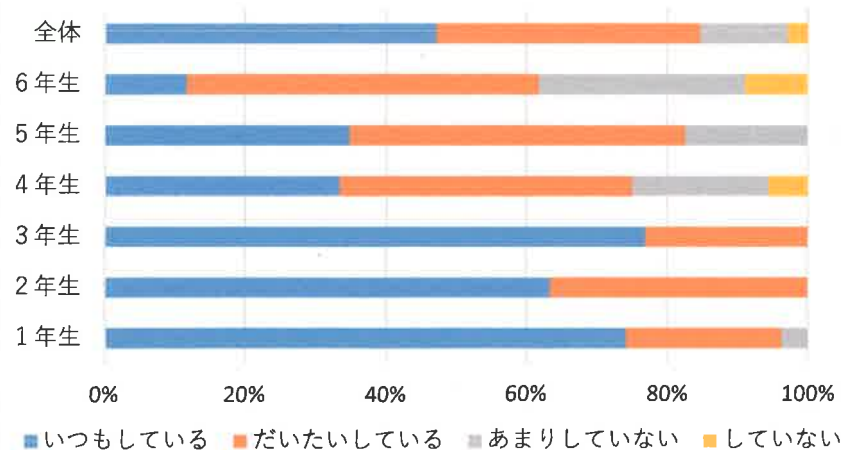
全体的には、昨年度より4パーセント多い94パーセントの児童が「授業は楽しい」と感じている。経年比較で見ると、特に5・6年生において「楽しい」と感じている児童の割合が増加している。今後も児童が「楽しい」と感じるような授業を心がけていきたい。

（２）外国語科の授業で（はっきりした大きな声で話すことを心がけていますか）



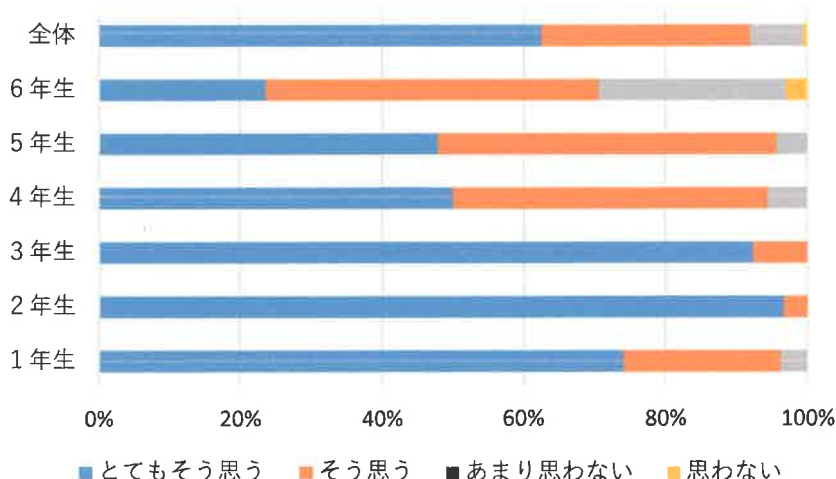
こちら、昨年度より4パーセント多い85パーセントの児童が「はっきりした大きな声」を心がけている。また、「心がけていない」の児童の割合も減り、全体的に授業への意欲の向上が表れている。今後も相手意識を大事にさせたい。

（３）外国語科の授業で（相手の目を見ながら会話することを心がけていますか）



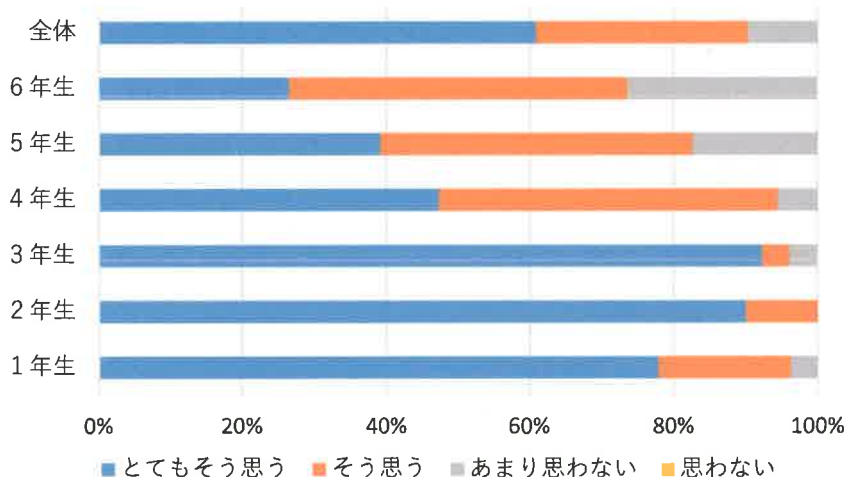
上記の2つと同様に、昨年度より4パーセント多い85パーセントの児童が「相手の目を見ながら」を心がけている。特に高学年になるとタブレットを使用する場面も多くなるが、話すときはしっかり相手の目を見るように心がけさせたい。

(4) もっと英語が話せるようになりたいですか



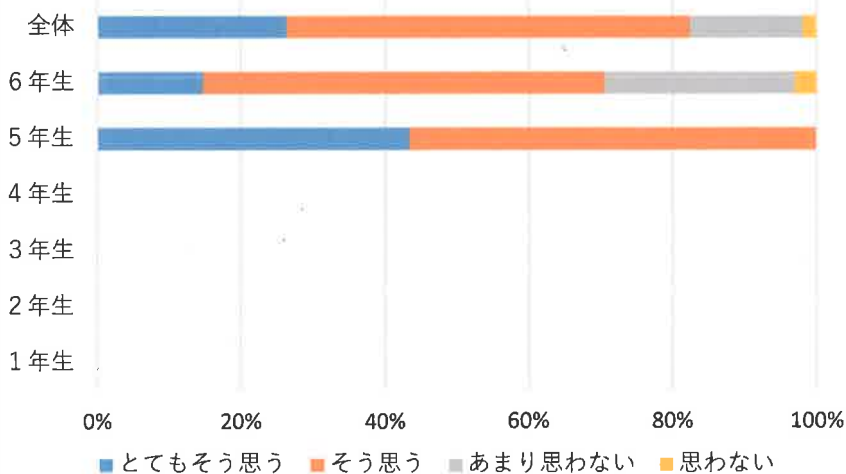
昨年度より6パーセント多い92パーセントの児童が「もっと英語が話せるようになりたい」と感じている。授業においては、学んだ表現を使い、実際に英語でやり取りする場面を設定している。今後中間指導の質を高めることでさらに児童の意欲を高めていきたい。

(5) 外国語科の授業は好きですか



昨年よりやや増え、90パーセント以上の児童が「外国語の授業が好き」と答えている。また本年度は、「好きだと思わない」と答えた児童が一人もいなかった。まだ苦手意識のある児童もいるので、児童の実態に合わせて授業を組んでいきたい。

(6) 外国語科の授業はわかりますか



昨年度より9パーセント多い82パーセントの児童が「外国語の授業は分かる」と感じている。今後もデジタル教科書の活用や、個人のめあてと振り返りの継続でレベルアップしていくような学習者中心の授業改善を行ってきたい。

【学校関係者・保護者からの意見】

本年度、特に力を入れているデジタル教科書の活用やイヤホンの使用によって、子ども達が「聞く」活動に取り組めているところがよい。
タブレットの持ち帰りで、家で子どもと一緒に英語の落語を見て楽しみました。